

2015 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I つぎの文章 (A～C) をよく読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

A ヒマラヤ山脈の南に位置し、アラビア海・インド洋・ベンガル湾に囲まれた地域は、歴史的にインドと呼ばれ、大きく北インドと南インドに分けられる。北インドはインダス川流域を中心とする西北インドと、ガンジス川流域の東北インドに分けられる。西北インドは気候的に乾燥が厳しく、灌漑網が整備されるまでは、麦作と牧畜中心の世界であった。古来からイラン高原を通じて西アジアとインドを結ぶこの地域には、両者の文明が交わる都市があった。「(1)」と呼ばれるバラモン教の根本聖典は、カイバル峠を越えて移動してきた (2) 人の宗教と、西北インド土着の宗教が融合して生まれた。

ガンジス川流域である東北インドは、湿潤な稲作農業の世界で、都市国家が栄え、多くの人口が集中した。仏教^(a)・ヒन्दゥー教はこの地域で生まれ、南アジア全域に伝播していった。

南インドは、内陸のデカン高原と、インド洋に面した海岸沿いの沿岸平野からなる。ここではインド洋の季節風を利用した航海術が開発され、インド洋東西の交易を中継するとともに、香辛料などの商品の供給地として機能した。

前1世紀～3世紀にかけて西北インドから南インドにかけて勢力をもったサータヴァーハナ朝では、仏教やジャイナ教の活動がさかんであった。サータヴァーハナ朝衰退後、9世紀までインド南東岸を中心に台頭したのは (3) 朝であった。ドラヴィダ系王朝のチャールキヤ朝は8世紀までデカン高原の覇権を握り、北インドから伝わった (4) 朝の文化を積極的に導入した。

B アフガニスタンを拠点とするトルコ系のガズナ朝と、イラン系とされるゴール朝の両イスラーム勢力は、10世紀末から北インドに対して軍事侵攻を繰り返し、ヒन्दゥー教の諸王国をやぶってインド支配の足場を固めた。そして13世紀初めに、奴隷出身の将軍 (5) によってインド最初のイスラーム王朝が創始された。その後3世紀にわたって、デリーには5つのイスラーム王朝^(b)が興亡し、ムガル帝国の基礎をつくった。

中央アジア出身のバーブルは、アフガニスタンから南下し、1526年にデリーに

入城してムガル朝を創始した。第3代アクバルは、アグラに都城を建設し、ヒンドゥー教徒の登用や人頭税の廃止など、ヒンドゥー教徒との和解策を積極的に進めた。

15～16世紀のインド社会では、イスラーム教とヒンドゥー教との融合をはかる信仰がさかんであり、不可触民への差別を非難し、神は根本において同一であるとした宗教改革者の（ 6 ）やシク教を創始した（ 7 ）が登場した。

C 17世紀以来、イギリス東インド会社は、インド交易に参加し、マドラス・カルカッタ・ボンベイに拠点を築いた。18世紀に入り、イギリスは3度にわたる（ 8 ）戦争で最終的にフランスに勝利し、南インド支配権をほぼ確立した。1757年には、ブラッシーの戦いでフランスとベンガル太守の連合軍をやぶり、この戦いによってイギリスはムガル皇帝からベンガル・ビハールの両地域のディーワーニーと呼ばれる（ 9 ）権を獲得し、東インドの大部分を掌握した。さらに、マイソール戦争勝利で南インド支配を決定的なものとし、マラーター戦争でデカン高原中西部を支配、19世紀前半のシク戦争に勝利したことで、19世紀半ばにはイギリスの支配権がインド全域に及んだ。

イギリスによる支配は、インド社会を大きく変化させた。安い機械織り綿布の輸入によってインド古来の木綿工業は大打撃を負い、輸出用作物として綿花・藍・アヘン・ジュートの栽培、ザミンダリー制などの新しい地稅制度の採用により、伝統的な村落社会は崩壊した。この状況下、1857年に東インド会社のインド人傭兵が待遇などへの不満から大反乱を起こし、デリーを占拠してムガル皇帝を擁立した。しかし、反乱はイギリスによって鎮圧され、1858年にはムガル皇帝が流刑に処せられ、ムガル帝国は滅亡した。イギリスはさらに東インド会社を解散しインドをイギリス政府直轄下におき、1877年、ヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国を成立させた。インド帝国は、直轄州と封建領主が自治権をもつ大小500を超える藩王国からなり、行政制度を整備しつつ、インド人のあいだに対立が起きるようになる巧妙な分割統治をおこなった。

19世紀後半になると、民族資本が成長し、都市や農村で社会不安が高まり、暴動が頻発した。事態を憂慮したイギリスは、1885年、ボンベイにインド人有力者

を集めて (10) を開いた。その後、民族運動はベンガルを中心にさかんになっていったため、イギリスは宗教的な対立を利用して分裂させようと、1905年に反英運動を弱める目的でベンガル分割令を発表した。しかしながら翌年、(10) はカルカッタ大会で4綱領を採択、独立運動は一気に盛り上がった。
(e)

設問1 空欄(1~10)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。仏教に関するつぎの記述(あ~う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. チベット仏教は、大乘仏教とチベットの民間信仰が融合したものである。
- い. かつて小乗仏教とも呼ばれた部派仏教は、交易路を通じて中央アジアから東アジアへ広まった。
- う. 上座部仏教はスリランカに伝わった後、東南アジア大陸部で大きな勢力となった。

設問3 下線部(b)について。5王朝は、奴隸王朝に始まり、ハルジー朝と続く。残りの3王朝が古いものから正しく並んでいるものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① トゥグルク朝 サイイド朝 ロディー朝
- ② トゥグルク朝 ロディー朝 サイイド朝
- ③ ロディー朝 トゥグルク朝 サイイド朝
- ④ サイイド朝 トゥグルク朝 ロディー朝
- ⑤ サイイド朝 ロディー朝 トゥグルク朝

設問4 下線部(c)について。アクバルに関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。

それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ、支配階層を組織化し、階層に応じた騎兵・騎馬数の準備を義務づけつつ、給与を与えた。

い、中央集権化策を改め、州・県・郡の統治を推進し、帝国の再興に努めた。

う、ヒन्दゥー教徒の女性ムムターズ=マハルと婚姻関係を結び、後にタージ=マハルを建てた。

設問5 下線部(d)について。この制度に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。

それぞれについて正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ、債務奴隷をおもな労働力とし、地租は変動制を採用することで、イギリスにとって非常に都合のよい徴収制度。

い、耕作農民に近代的土地所有権を認めつつ、同時に納税責任を負わせ、地主を介在させずに農民を直接支配した制度。

う、旧来の地主・領主の伝統的権利を近代的土地所有権として認める代わりに、国家に対する地租納入の直接責任者とする制度。

設問6 下線部(e)について。4綱領とは何か。4つ全てを解答しなさい。

II つぎの文章（A～C）は、アヘン戦争以降、清朝の滅亡にいたる近代中国の歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（33点）

A アヘン戦争後、その多額の戦費や賠償金により一般の民衆に対して重税が課される一方でまた、洪水などのいくつかの大規模災害なども発生した。それらにより、民衆の窮乏化が加速し、中国社会の底辺には清朝に対する不満がしだいに蓄積されていき、各地では反乱が多発した。そのうち、最大のものが洪秀全を指導者とする^(a)太平天国の乱であった。洪秀全は、広東でキリスト教に接したのち、キリストの弟と自称し、宗教結社（ 1 ）をつくった。

洪秀全は、太平天国をうちたてたのち、1853年には南京を占領して首都と定め、天京と名づけた。太平天国のスローガン（旗印）として「（ 2 ）」を掲げて、清朝打倒をめざした。かくして、太平天国では洪秀全が描く理想の国家・社会を定めた^(b)天朝田畝制度などの政策がつぎつぎに打ち出されていった。しかしほどなくして、太平天国は政権の内紛などによって衰えをみせ始めた。それに加えて、1860年からアメリカ人ウォードが組織し、その戦死後はイギリス人ゴードンによって率いられた常勝軍が清軍に協力したため、太平天国軍は軍事的にもしだいに追いつめられていった。こうしたなかで、1864年6月に洪秀全が病死し、同年7月にはついに天京が陥落した。

B 上記の太平天国の乱が平定されたのち、中国国内の秩序が一時的に安定をみた。そのことから、この時期は同治の中興と呼ばれ、西洋の学問や技術が導入され、^(c)「中体西用」の立場に立った洋務運動が推進された。

しかしながら、清朝を中心にしたこれまでの東アジアの国際秩序は、西洋列強の進出に加えて、1868年の明治維新をへた日本の台頭などによって、脅かされつつあった。すなわち、1875年に日本が起こした江華島事件によって、1876年に朝鮮にとって不平等条約である（ 3 ）の締結がなされ、朝鮮支配をめぐる日清間の対立が深まっていった。

その後1882年の壬午軍乱と1884年の甲申政変をへて、1885年に日清間で締結された（ 4 ）のもと、東アジアではしばらくの間安定が続くことになる。しか

し、朝鮮半島における 1894 年 4 月の（ 5 ）の勃発を機に、ついに日清戦争が始まった。この戦争は日本の勝利に終わった。

日清戦争における清朝の敗北をきっかけに、列強は清朝領土内における鉄道敷設・鉱山採掘などの利権の獲得にし^(d)のぎを削ることとなった。他方、その敗北に強い危機感を抱いた中国の知識人によって、日本の明治維新を模倣した制度改革の主張がなされた。すなわち、戊戌の変法において、光緒帝によって登用された康有為・梁啓超ら^(e)が改革を推進した。しかし、これに対して改革に反対する保守派と組んだ西太后が戊戌の政変を起こし、光緒帝は幽閉され、変法は挫折した。

C 世紀の変わり目である 1900 年から 1901 年にかけて「（ 6 ）」をスローガン（旗印）として掲げた義和団によって反乱がひき起こされた。これにより、さきの日清戦争における清朝の敗戦にともなう日本への多額の賠償金などに加えて、さらに義和団賠償金が列強から清朝に課されることとなった。

そこで、清朝はようやく光緒新政と呼ばれる改革に着手した。すなわち、清朝は、1905 年に科挙を廃止するなどの改革に着手し始めた。とくに、日露戦争におけるロシアの敗北と日本のかさねての勝利に影響を受けて、1908 年には立憲制に向けて、日本の大日本帝国憲法（明治憲法）に倣った（ 7 ）を發布し、1910 年に国会開設を約束するなどした。こうして、近代国家の建設に向けた改革に踏み切った。しかし時すでに遅きに失した感があった。

当時すでに 1894 年にハワイで設立された革命結社（ 8 ）を指導していた孫文は 1905 年に日本の東京で中国同盟会を組織し、三民主義を掲げて中国国内で武装蜂起などをくり返していた。

孫文が革命資金集めのために国外にあるなか、第一革命とも呼ばれる辛亥革命^(h)が起り、新しい政権が樹立された。そして、長きにわたった清朝はこの新政権の樹立の翌月に宣統帝（溥儀）が退位することによって、その幕を閉じることになった。

設問 1 空欄（1～8）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。太平天国の乱に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 辮髪を切り、長髪にした「長髪賊」とも呼ばれた人々によって担われた。
- い. 1851年1月に広西で挙兵した。
- う. 湘軍や淮軍などの郷勇が太平天国軍側に加勢した。

設問3 下線部(b)について。天朝田畝制度に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 土地を均等に配分することを定め、戦闘や労働への動員がめざされた。
- い. 儒教が奨励された。
- う. 太平天国で発布されたが、ほとんどが実施されなかった。

設問4 下線部(c)について。洋務運動に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 曾国藩ら漢人官僚は洋務運動に反対した。
- い. 兵器工場や紡績工場、造船工場の設立がなされた。
- う. 西洋の民主的な政治制度が導入された。

設問5 下線部(d)について。列強諸国に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. フランスは膠州湾を租借し、ドイツは広州湾を租借した。
- い. イギリスは、威海衛・九竜半島を租借した。
- う. ロシアは、旅順や大連を租借した。

設問 6 下線部(e)について。戊戌の変法と政変に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。康有為は立憲制の導入などの改革を推進しようとした。

い。その政変により、康有為と梁啓超はアメリカへ亡命した。

う。この改革は3年あまり実施された。

設問 7 下線部(f)について。科挙に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ。宋では、科挙が官吏登用法の中心として整備され、殿試も始まった。

い。元では、当初から科挙が採用された。

う。科挙を受験する道は、男性であれば階層にかかわらず広く開かれていた。

設問 8 下線部(g)について。辛亥革命の経過に関して、①その発端となった出来事と、②新しい政権の樹立について、60字以内でそれぞれの年月および地名（当時の都市名など）を含む形で具体的に記述しなさい。

III つぎの文章（A～D）は世界恐慌および第二次世界大戦に関するものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（35点）

A 1929年10月、ニューヨーク株式市場での株価暴落をきっかけに世界恐慌が始まった。1931年6月にフーヴァー・モラトリアム^(a)が宣言されたものの、状況は好転しなかった。1933年にフランクリン・ローズヴェルトが合衆国大統領に就任すると、彼は恐慌対策に着手し、ニューディールと呼ばれる一連の政策を展開する。たとえば、農業生産の制限と農産物価格の安定化をねらう農業調整法が制定され、また企業間の競争の制限などを認める（ 1 ）が制定された。こうした産業の統制によって労働者の不満が高まると、1935年にワグナー法が制定され、労働者の団結権と団体交渉権が改めて確定された。一方、イギリスでは1931年、恐慌克服をめざす挙国一致内閣^(b)が誕生する。イギリスは1932年、イギリス連邦経済会議（オタワ連邦会議）を開催し、イギリス連邦内における特惠関税制度を導入して、（ 2 ）と呼ばれる広大な経済圏を結成した。

B 経済危機に苦しむドイツは、民主的なヴァイマル（ワイマール）憲法^(c)を有していたが、議会政治は混乱し、政治危機にも直面していた。こうしたなかでヒトラー率いるナチスが1923年に引き起こした（ 3 ）は失敗に終わったが、ナチスはその後も勢力を拡大し、1933年1月にはヒトラー政権^(d)が誕生する。同年3月の総選挙でナチスが第一党となると、ヒトラー政権は、（ 4 ）と呼ばれる法律を成立させて立法権を政府に委譲させ、独裁体制を確立した。恐慌に苦しむイタリアでは、ムッソリーニ政権が1935年にエチオピアに侵攻して翌年これを併合した。1936年には日独防共協定が結ばれ、翌年イタリアもこれに加わって、日独伊三国防共協定が成立する。1938年3月、ドイツは（ 5 ）を併合し、さらにチェコスロヴァキアにも迫ると、同年9月に、イギリス・フランス・ドイツ・イタリアの4か国により、ミュンヘン会談^(e)が開かれた。ドイツはさらに翌1939年、国際連盟の管理下にあった（ 6 ）の返還を、ポーランドに対して要求した。

C 1939年9月、ドイツがポーランド侵攻を開始し、これに対してイギリス・フランスがドイツに宣戦布告して、第二次世界大戦が始まった。ドイツは1940年にはデンマーク・ノルウェー・オランダ・ベルギーに侵入し、6月にパリを占領する。フランスでは、ペタンを首班とする対ドイツ協力政権がヴィシーで成立したが、これに対して(7)を中心とする抗戦派は、1940年6月、ロンドンで自由フランス政府を樹立した。同じ頃、ドイツはバルカン半島に侵入し、1941年4月にはユーゴスラヴィアとギリシアを制圧する。ドイツはさらに同年6月、独ソ不可侵条約を破ってソ連に攻撃をかけ、独ソ戦が始まった。一方、ソ連はイギリスやアメリカとの結束を強めるため、1943年5月に(8)を解散した。

D アメリカ合衆国は、1941年3月に成立した(9)と呼ばれる法律によって、イギリスをはじめとする反ファシズム国を支援した。同年12月、日本の真珠湾奇襲により太平洋戦争が開始され、ドイツ・イタリアもアメリカ合衆国に宣戦布告する。翌1942年6月のミッドウェー海戦以降、日本は敗退の道をたどり、同年8月に始まった(10)の戦いは、独ソ戦における決定的な転換点となった。1944年6月の連合軍によるノルマンディー上陸作戦の成功は、ドイツ敗戦の流れを決定づけ、翌1945年2月には、ローズヴェルト・チャーチル・スターリンによってヤルタ会談が開かれた。同年5月にはドイツが無条件降伏し、日本も8月にポツダム宣言を受諾して降伏し、第二次世界大戦は終結した。

設問1 空欄(1~10)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。フーヴァー・モラトリウムの内容について、30字以内で説明しなさい。

設問3 下線部(b)について。この内閣に関する記述として、誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 第2次マクドナルド労働党内閣の総辞職後に組織された。
- ② マクドナルドが保守党・自由党とともに結成した。

- ③ マクドナルドは労働党から除名された。
- ④ 産業別組織会議（C I O）を発足させた。
- ⑤ 金本位制を停止した。

設問 4 下線部(c)について。ヴァイマル憲法に関する記述として、誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 1919年にヴァイマル国民議会で制定された。
- ② 主権在民がうたわれた。
- ③ 首相に非常大権が認められた。
- ④ 成年男女の普通選挙権が認められた。
- ⑤ 労働者の団結権が認められた。

設問 5 下線部(d)について。ヒトラーを首相に任命した大統領は誰か。その名前を答えなさい。

設問 6 下線部(e)について。この会談の結果ドイツへの割譲が認められた地域は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問 7 下線部(f)について。ユーゴスラヴィアでドイツ占領軍に対してパルチザン闘争を展開し、戦後は独自の社会主義路線を推進して1953年にユーゴスラヴィア大統領となった人物は誰か。その名前を答えなさい。

設問 8 下線部(g)について。この人物に関する記述として、誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① トロツキーを追放した。
- ② ブハーリンを粛清した。
- ③ カイロ会談に参加した。
- ④ テヘラン会談に参加した。
- ⑤ ポツダム会談に参加した。